

分析事例4: 県内イベント開催による経済効果

県内農産物消費拡大に向けた県内でのイベント開催による来場者の観光消費に係る経済波及効果を分析します。

1 分析の入力値

- 分析には「令和 2 年経済波及効果分析ツール(観光消費分析ツール: 詳細版)」を使用します。
- 来場者アンケート調査を基に、来場者が支出した、交通費・宿泊費・飲食費・買い物代等の1人当たり消費支出額、来場者数を算出し、下記のとおりとします。

来場者数

単位: 人

	県内から	県外から	訪日外国人	合計
宿泊旅行者数	0	5,000	0	5,000
日帰り旅行者数	10,000	5,000	0	15,000
合計	10,000	10,000	0	20,000

旅行者消費額単価(分野別)

単位: 円

	交通費	宿泊費	飲食費	買い物	合計
県内・宿泊					
県外・宿泊	10,000	20,000	10,000	7,000	47,000
県内・日帰り	1,000		5,000	3,000	9,000
県外・日帰り	10,000		5,000	5,000	20,000

※ 交通費について、県内・日帰りにおいては鉄道(短距離移動)、県外においては新幹線・鉄道(長距離移動)を想定している。

※ 買い物は農産物購入を想定している。

- 消費転換係数は、総務省「家計調査(仙台市の二人以上勤労者世帯)」における令和5年～令和7年の消費支出／実収入の3か年平均 0.5395 を使用します。

2 分析の結果

(1) 経済波及効果

(億円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	総合波及効果		雇用者数
					うち粗付加価値	
分析結果	4.25	1.45	0.81	6.51	3.67	67

※百万円未満は四捨五入しています。

(2) 部門別波及効果 ※各部門金額上位3つまで記載

	部門別分析結果
直接効果	対個人サービス(2.25 億円)、運輸・郵便(1.16 億円)、耕種農業(5,800 万円)など
第一次波及効果	対事業所サービス(3,600 万円)、運輸・郵便(2,000 万円)、不動産(1,500 万円)など
第二次波及効果	不動産(2,700 万円)、対個人サービス(900 万円)、商業(700 万円)など
総合波及効果	対個人サービス(2.38 億円)、運輸・郵便(1.39 億円)、耕種農業(5,900 万円)など

(3) 環境負荷

二酸化炭素排出量(エネルギー起源)は 1,018t-CO₂、温室効果ガス排出量は 1,262t-CO₂eq となっています。